



# 帯山小学校だより

No.12 R8.2.2 文責 校長 西方 浩一

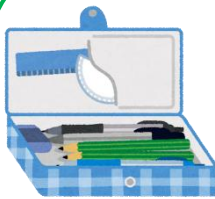
## 3年連続！どんどや日和

先月18日（日）、本校校庭でどんどやが行われました。3年続けたの快晴、風もなく、暖かで、この上ないどんどや日和でした。青少協の皆様をはじめ地域の皆様、ご協力いただいたPTAを中心とした保護者の皆様、子どもたちの笑顔のためにご尽力いただきありがとうございました。本校職員も数多く参加して、子どもたちや保護者の方々と交流を深めておりうれしく思いました。



今年一年の「無病息災」を心から祈り、帯山の子どもは、帯山の中で育くまれていることを実感した次第です。今年も、後片付けには、本校保護者でもあるむつみ建設の井上さんが重機を持ち込まれ、整地していただきました。これからも、地域の伝統行事がさらに受け継がれ、ますます発展していくことを願っています。

## 「今月から新しい『帯っ子のきまり』に」校則見直し委員会



先月16日（金）に学校評議員さんやPTA役員さんにも参加していただき、校則見直し委員会を開催しました。今年度は、①「学習に使わない物」に、実際使わない筆箱の中身も含まれるのか、②「掲示板」は「学校にある物」なのできまりを一つにまとめることができないか、③新に「髪を染めたり、アクセサリーをつけたりしない」というきまりを付け加えたい、という3点について話し合われました。

今回、話し合っただけのきまりは、6年生も含め、みんなで考えた校則です。そこで、一日も新しいきまりにして、よりよい学校生活につなげるということから、今月（2月）から取り入れます。

また、学校評議員さんからは会の中で「小学校の間、校則を守らせるのは保護者の責任」というご意見もいただきました。

みんなで決めたきまりです。みんなで守って（守らせて）いきましょう。

## 還暦の「今」、思うこと

私事ですが、昨年還暦を迎えました。24歳になる年から教職に就き、早いもので36年が経ちます。60歳になった今、幸せなことに「この仕事に就けてよかったな」と思います。時には辛いこともあります。子どもや保護者、地域の方々、そして、先生たちの笑顔のために働く喜びの方が上回ります。



そんな中、子どもたちから「〇〇を買ってもらえるから頑張る」とか「お金をもらえるなら、やってはいけないことでもやる」という声が聞こえてきました。

私も生活のためにお金は必要で、そのためにも働いています。しかし、そのこと以上に、人が喜ぶ姿に自分の幸せを感じているからこそ、教職に就いてよかったと思えるのです。本校の子どもたち、そして、今後の教育を担う先生たちにも、還暦を迎えたときに「この仕事でよかった」と思えるような世の中になることを願っています。